

講壇点滴

最も大いなるもの

コリントの信徒への手紙Ⅰ

一三章八〜一三節

牧師 姜 涇 米

聖霊の最高の賜物は愛であります。愛は、他の賜物とは異なります。そのことが八節以下に語られています。預言、異言、知識の聖霊の賜物と愛は本質的に違うのだということがここに語られています。その違いは、これらの賜物は廃れていくものであるのに、愛は決して滅びないのだということです。

九、一〇節にありますように、知識や預言という賜物が廃れていくのは、それが「部分的なもの」だからです。「完全なもの」ではないのです。

「廃れていく」というのはどうなのでしょう。部分のものが廃れるのは、完全なものがあった時です。キリストの体が完成する時、私たちの救いが完成し、神の国が来る時には、私たちに与えられている様々な賜物はいらなくなるのです。

愛はなぜ滅びることがないのでしょか。それを考える上で大事なものは一二節の後半です。今は一部しか知らない、それは私たちの知識は部分的なものではないということになります。しかしその時には、はっきり知ることになる。完全なものが来た時には、全き知識が与えられるのです。しかしそこに、「はっきり知り知られているように」とあることが大事で

す。

神様にはっきり、完全に知られているというのは、神様にはっきり、完全に愛されているということです。聖霊が与えてくださった賜物である、滅びることのない愛は、主イエス・キリストにおける神様の愛です。聖霊によって私たちは、この神様の、独り子イエス・キリストにおける滅びることのない完全な愛を知らされるのです。自分が、この完全な愛によって愛されていることを知らされるのです。

神様に愛されていることを知らされた私たちは、自分も神様を知り、愛して生きる者となります。そして神様を愛するならば、神様が愛しておられる人間を、隣人を愛する者となっていくのです。それが信仰者になることです。

私たちは部分的であり、不完全なものです。しかし私たちがどれほど不完全で、不十分な者であっても、神様は私たちのことを完全に知っていてくださり、完全な愛をもって愛して下さるのです。だから私たちは安心して、神様を愛し、人を愛していくことができます。

愛は、神様が主イエス・キリストにおいて私たちを完全に知っていてくださり、愛して下さる、そのことに支えられた、私たちと神様との滅びることのない関係です。見つめるべきことは私たちの愛ではなくて、神様が、独り子イエス・キリストをこの世に遣わし、十字架の死と復活によって私たちの罪を赦して下さっているということ、神様が私たちを完全に知っておられ、その上で徹底的に愛して下さるということです。

(五月一五日 公同礼拝)